

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	81
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	空家対策事業					
予算科目	2 款	1 項	10 目			
予算事業名	企画費					
総合計画での位置づけ	住みよい生活環境をつくる					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	亀井 隆行	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等						
事業の対象	町内全域の家屋及びその所有者又は管理者					
事業の目的	全国的に問題となっている空き家の管理について、久山町の実情を把握するとともに該当する物件については、利活用をはじめ適正管理を促すことによって、防災・防犯、衛生、環境等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう対策を講じる。					
実施期間	開始年度	平成	25 年度	から		
	終了年度	令和	年度まで			
事業の内容	町内全域の家屋について、住民基本台帳、固定資産、上水等の保有データから空き家と疑われる家き屋を抽出し、現地踏査を行い空き家を絞り込む。空き家判定を受けた家屋については所有者情報を明確にし意向調査を実施する。また関係部署で連携した相談体制を整備する。					
目的達成の指標	管理者不明物件数					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	棟	0	0	0	0
実績	棟	0	0			
指標設定の考え方	空き家管理の問題点は、防犯、防災、環境、景観に悪影響を与えることによって住民の生活が阻害されることであり、空き家そのものの存在が悪いわけではない。適正に管理されていない空き家がなければ、このような問題も発生しないと思われるので、指標の設定は妥当である。					
事業遂行時懸案事項等	アンケート調査の結果、利活用を望む声が少なく、荷物等の保管庫として利用されていることが多い。また現在の空き屋の状況が老朽化していることもあり、売買や賃貸を躊躇している所有者も多い。					
事業実施時懸案事項対応等	各課との連絡体制取り、情報共有を行うことで、管理者不明物件を無くす。また空き家バンクを開設にしたことにより、売り手、買い手の相談を行い、新たな移住者を増やしていく。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 259 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.16	0.16	0.16	0.16
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,176	1,208	1,141	1,141
事業費	直接事業費	412	1,110	1,110	1,110
	人件費	1,176	1,208	1,141	1,141
	合計	1,588	2,318	2,251	2,251
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,588	2,318	2,251	2,251
合計	1,588	2,318	2,251	2,251	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目標	412	1,110	1,110	1,110	1,110
実績	0	0			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
苦情処理率	%	100	100	100	100
		100	100		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 141 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.16	0.16	0.16
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費			0
	人件費(①×②-③)	1,149	1,208	1,262
事業費	直接事業費	0	1,110	0
	人件費	1,149	1,208	1,262
	合計	1,149	2,318	1,262
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	1,149	2,318	1,262
合計	1,149	2,318	1,262	

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	亀井 隆行
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化 <input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

現在久山町も空き家件数は93件ほどあり、今後増えていく事も予想されるため、必要性は高い事業であると言える。ただ、空き家を賃貸や売却資産として捉えている所有者がまだまだ少なく、事業の有効性については課題が残る。

公平性・透明性という視点からみれば、空家バンクの立ち上げについてHP上で公開している事等を踏まえれば、評価は高いと言える。今後は空き家活用事業と並行して空家バンクの活用が必要であると考えます。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

久山町空家バンクを設置して1年経過したが、実際に空家バンクに登録件数が無いのが実情である。空き家を購入したいという希望者が多くいるが、紹介できる物件がない状態である。今後は所有者に対し、空家バンクのPRや提携不動産と協力し、空き家の利活用を検討していく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

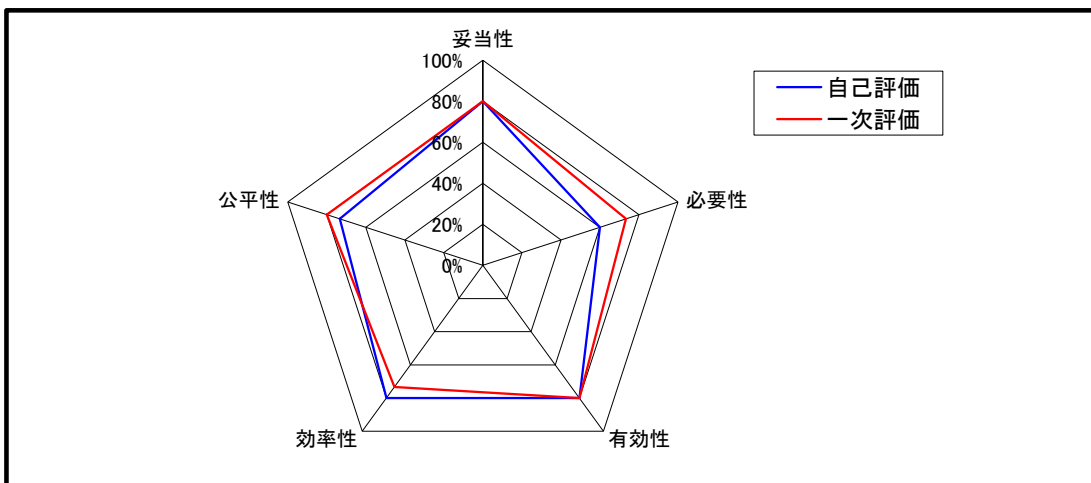
見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他



一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

空家バンクについては全国的に成果が上がっていないの現状である。空家所有者の登録を促すためにも、空き家リフォーム等助成事業補助金等のPRを推進すると共に、場合によっては、補助内容等についても見直しについても検討を行う。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	川上 克彦
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

今後も高齢化や核家族化の進展等により空き家は年々増え続けると想定される。対策として空き家リフォーム補助金を創設すると共に空き家バンクの要綱を制定したので、あらゆる手段を活用し幅広く周知することで、空き家の利活用を含め空き家の増加を防いでいく方針である。(昨年度の意見)

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

事業の必要性は高いものの、成果が出にくいのも事実である。他の事業との連携を図るなどの工夫が必要である。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--